

国史跡スクモ塚古墳の第 2 回発掘調査指導会の開催について

標記のことについて、下記のとおり発掘調査指導会を開催しますので、取材いただきますようご案内します。

記

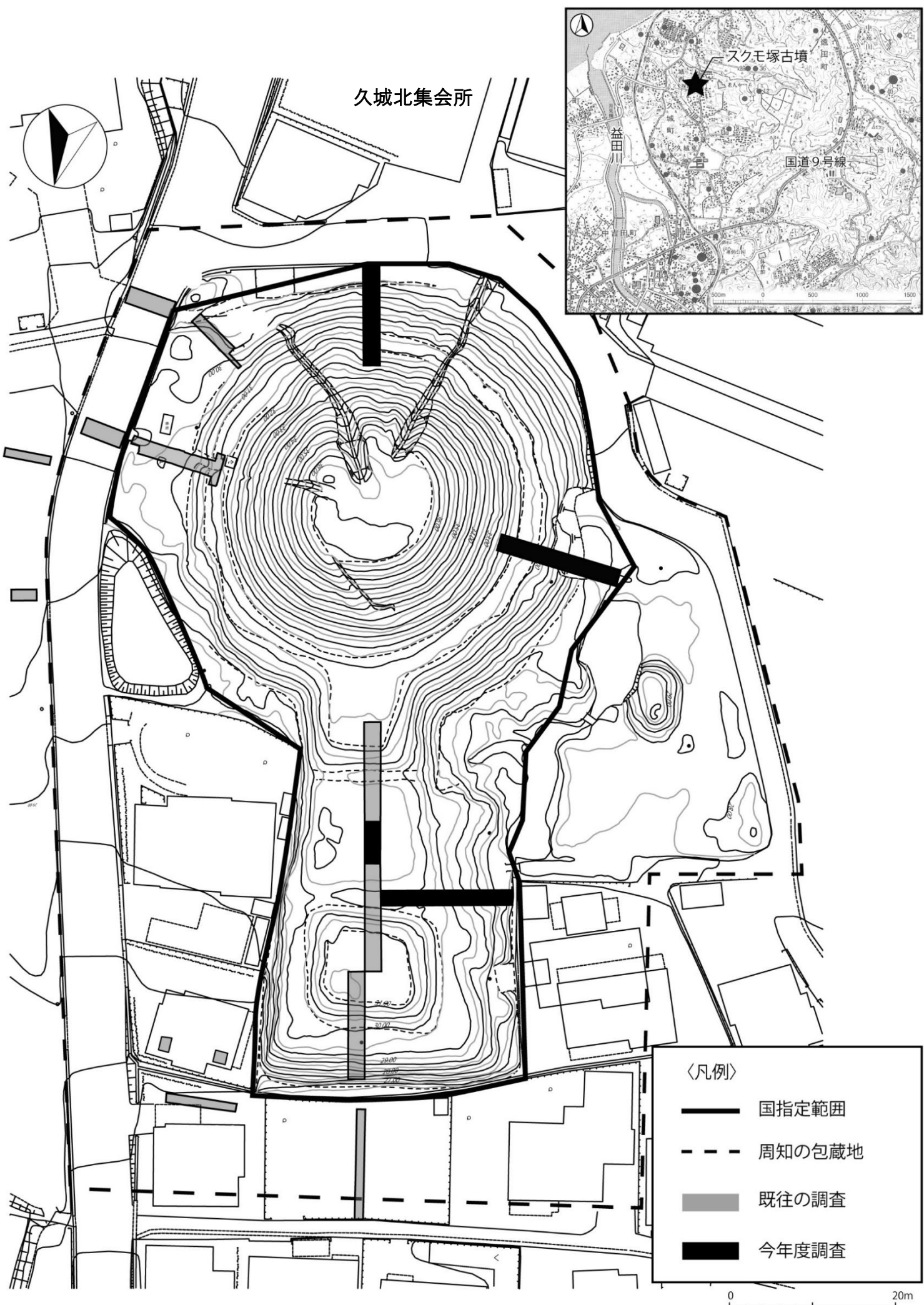
1. 日 時 令和 2 年 11 月 13 日 (金)
9 : 00 ~ 10 : 30 遺物指導・指導まとめ
※指導者への直接取材は、指導会終了後 (10 : 30 ~ 10 : 45 の予定)
に現地でお願ひします。
2. 場 所 久城北集会所
3. 出席者 岩本崇 (島根大学法文学部准教授)、廣瀬覚 (奈良文化財研究所主任研究員)、和田晴吾 (立命館大学名誉教授)、仁木聡 (島根県教育庁文化財課企画員)

【発掘調査の概要】

- (1) 調査期間 令和 2 年 9 月 14 日 ~ 令和 2 年 11 月下旬 (予定)
- (2) 遺 跡 名 スクモ塚古墳 / 久城町
- (3) 調査概要 益田市教育委員会は、スクモ塚古墳の範囲・内容確認調査を平成 28 年度から実施している。令和 2 年度は、古墳の構造や墳形、造られた年代を明らかにすることを目的として実施する。
- (4) そ の 他 発掘調査の成果は、11 月 21 日に市民向けの現地説明会を開催しますので、別途ご案内します。

【スクモ塚古墳の概要】

古墳時代前期末 ~ 中期初頭 (4 世紀後葉) に築造された、全長約 60m の造り出し付円墳。石見地方を代表する大型古墳として、昭和 16 年に国史跡に指定された。三角縁神獣鏡が出土した四塚山古墳 (下本郷町) や大元 1 号墳 (遠田町) に次いで造られた、益田地域を治めた首長墓の一つと考えられている。国史跡でありながら墳形が特定されていない珍しい古墳で、全長 100m の前方後円墳とする説もあり、その場合は県内で最大の前方後円墳となる。



〈凡例〉

- 国指定範囲
- - - 周知の包蔵地
- 既往の調査
- 今年度調査

調査区配置図